

「期待するということ・期待されるということ」

すみれ学級担任 伊藤 房規

東京オリンピックが再来年に行われます。出場選手への期待が高まっています。先のリオオリンピックでの選手へのインタビューを思い返すと、銀メダルを獲得した選手に対しては「次は金メダルを期待しています」という話であったり、金メダルを獲得した選手に対しては「次は何を目標にしますか」であったりと、次への期待がふんだんに込められているように思います。われわれ視聴者も、インタビュアーと同じ気持ちで視聴しています。でも、がんばった選手に対して、ねぎらいの言葉だけでいいのではないか、そんなに次々と期待をかけて選手を追い込まなくてもいいのではないか、ということを感じました。

ただ、ふと自分の実生活を振り返ると、家庭や学校で「これだけのことができたんだから次はこれができるよね」という思いが強くなっていることに気が付きます。次のステップができなかったり、前よりできなくなってしまうと「どうしてできないのか」といらいらしてしまいます。期待された方は、期待に応えるために一生懸命にがんばっています。身体的に調子が悪くても、精神的にいっぱいであっても、無理をしてしまうことがあります。



次のステップができなくても、以前よりできなくなっても、また一からやり直せばいいという気持ちが大事であり、それを後押しするような励ましが大切だと思います。周りの人の期待は、ともすると、応援する人への励ましを超えたプレッシャーとなることがあります。「期待」という言葉を借りた、自分を満足させるための欲望にならないように気を付けたいと思います。

総合的な学習の時間の発表会

2月9日（金）視聴覚室で、3時間目に4年生、4時間目に5年生が総合的な学習の時間の発表をしました。学習でお世話になったきずなの会の皆さんをお招きしました。4年生は、防災について5年生ときずなの会の皆さんに発表しました。避難の仕方、避難所での生活の仕方、非常食、けが人を運ぶ際の棒と毛布を使っての担架の作り方などについて発表していました。5年生は、米作りの土作りからしめ縄作りまでをスライドを使って発表しました。学習で楽しかったことや大変だったことと、きずなの会の皆さんへの感謝の気持ちを伝えました。きずなの会の方が「子どもたちしっかり発表できていましたね」とおっしゃっていました。



運動場一面真っ白 雪が降ったよ

1月25日(木)朝、運動場一面真っ白に雪が積もっていました。子どもたちは大喜び。運動場に出て、雪を集めて玉を作り、歓声を上げながら投げ合ったり、追いかけて合ったりして雪で遊びました。その後晴れて、お昼前には、すっかりもとの運動場の様子にもどっていました。めったにないよい体験ができました。



入学説明会

2月2日(金)入学説明会があり、年長の園児と保護者が一緒に参加しました。30年度の新1年生は、38名が入学予定です。保護者の方が、説明を聞いている間、園児は、現1年生とお店屋さんごっこで遊んだり、5年生とじゃんけん列車で遊んだりしました。4月6日(金)が、入学式です。会えることを楽しみにしています。現1年生、5年生は、お兄さんお姉さんとして、優しく園児を迎えていました。



走れ走れ運動

2月13日(火)、インフルエンザ、かぜ等で延期になっていた全校での走れ走れ運動が始まりました。低・中・高学年それぞれのコースに分かれて、音楽に合わせて一斉にスタートし、運動場のトラックを走りました。自分のペースでできるだけ歩かず走っていました。子どもたちは、「5周走った」「6周走った」と目標に向けて取り組んでいました。



日	曜	3月の予定
1	木	委員会(最終)
2	金	6年生を送る会
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	ワックスがけ
7	水	6年お祝い給食 ワックスがけ
8	木	クラブ(最終)
9	金	なかよしタイム 通学団会
10	土	
11	日	
12	月	代表委員会
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	給食最終(6年生)
20	火	卒業式
21	水	春分の日
22	木	給食最終(1~5年生)
23	金	修了式
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

4月の予定

- 5日(木) 入学式準備(新5・6年)
- 6日(金) 入学式(新5・6年参加)
- 9日(月) 始業式
- 10日(火) 通学団会
- 11日(水) 給食開始(2~6年)
- 16日(月) 1年給食開始
- 16日(月)・19日(木)・24日(火)
家庭訪問
- 20日(金) 授業参観・PTA総会